

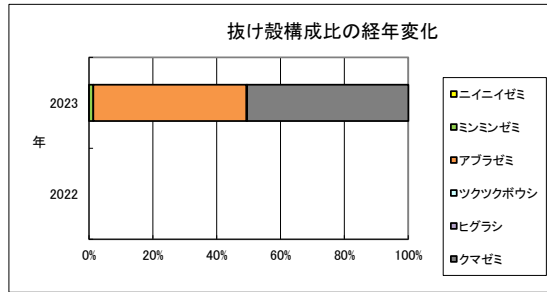
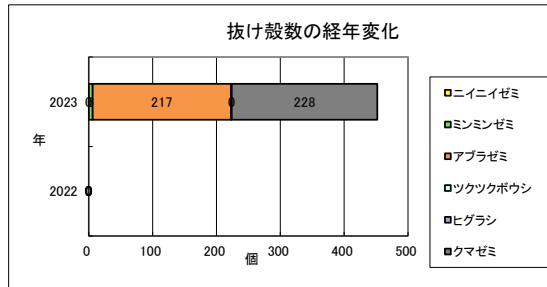
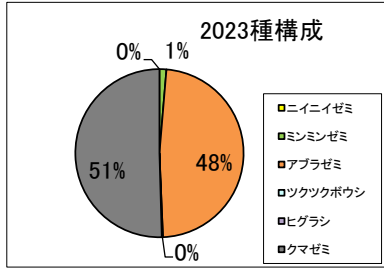
セミの抜け殻調査報告書2023

■ 部分を入力 ■ ニイニゼミの♀鑑別は不要(任意で入力できます) ■ ブルダウンから選択
 列や行は削除はしないでください。 ■ 部分は自動入力(計算)されますので入力しないでください。

年度	2023
都道府県名	東京都
調査地名	小平市
サイト名	津田団地口
周辺の環境	平地
調査場所の様子	その他()
調査場所の地面	土が露出
主担当者	小口治男・野本雅央(8/5・8/19)
再検者	小口治男

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	
調査地の主な樹木	レッドロビン、クスノキ、ケヤキほか
調査地関連HP	https://musashinoparks.com/kouen/nogawa/
調査参加者数	大人 5名 中学生 小学生 幼児

種	♀	♂	7/19	8/5	8/19	計
ニイニゼミ	不明	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	♂	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	計	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	2	1	3	3
ミンミンゼミ	♂	0	2	1	3	3
ミンミンゼミ	計	0	4	2	6	6
アブラゼミ	不明	0	0	0	0	0
アブラゼミ	♀	19	47	43	109	109
アブラゼミ	♂	3	54	51	108	108
アブラゼミ	計	22	101	94	217	217
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	1	0	1	1
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	1	0	1	1
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0	0
クマゼミ	♀	72	31	41	144	144
クマゼミ	♂	4	33	47	84	84
クマゼミ	計	76	64	88	228	228
(自由入力)	不明	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0	0
合計		98	170	184	452	452



種	2022	2023
ニイニゼミ	0	0
ミンミンゼミ	0	6
アブラゼミ	0	217
ツクツクボウシ	0	1
ヒグラシ	0	0
クマゼミ	0	228
(自由入力)	0	0
総計	0	452

コメント:(改行:ALT+ENTER)
 クマゼミの抜け殻は、生垣のレッドロビンか、その近くの樹木に集中している。

(以下、ちむくいへ小口氏投稿 2023.9)
 8月の初めの朝、玉川上水の子供観察会のために集合場所の津田団地内の津田公民館に着くと、周囲の樹木から予想もしないクマゼミの大合唱。ここは西日本かと疑ってしまうほどの異様さです。
 公民館から玉川上水に移動すると、そこはアブラゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクボウシ、ニイニゼミの鳴き声が降り注ぐようです。午後、観察会が終わって、公民館に戻るとクマゼミの鳴き声は嘘のように聞こえません。面白いことにクマゼミが鳴くのは午前中のみで、午後1時をすぎると鳴き止んでしまいます。

解散後に周囲の団地でクマゼミの抜け殻を探すと33個が見つかりました。地元の方に伺うと30年ほど前に団地ができた際に、生垣として植えた樹木にクマゼミの幼虫か卵がついてきて、その後、次第に増えたようです。夕方、玉川上水はヒグラシの合唱でした。後日、2回の抜け殻を調査して合計72個が見つかりました。このクマゼミは国内移動による外来種(国内外来種)にされると思いますが、都内でも珍しい6種類のセミが棲息する場所です。